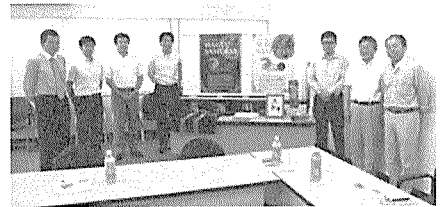


首都圏ミートパッカー輸出協、和牛に続き交雑牛もブランド輸出



昨年7月に設立された首都圏ミートパッカー輸出推進協議会(代表理事・阿部昌史(株)ミートコンパニオン社長)の定例総会が6月27日ミートコンパニオン会議室で開催され、今年度はタイ、香港、マカオ向けを中心により積極的に輸出事業を推進していくことを確認するとともに、新たに東京食肉市場内の牛肉専門卸の(株)ミヤミートの入会が承認された。

同協議会は、首都圏・関東を中心とした地域の畜産関係者と食肉流通事業者を会員として構成し、国内産の優良な食肉等を今後、期待される海外市場に向けて輸出推進し、日本産食肉ブランドの認知度向上とブランドの確立を目的に昨年7月に設立された。昨年は海外輸出に取り組む支援対象者として農水省の特認団体に承認された。また協議会の第1ブランドとして『WAGYU SAMURAI』を立ち上げたが、今期においては、新たに国産牛(交雑種)ブランドとして『Japanese Beef KABUTO 兜』を立ち上げ、ホテルイベントなどでPRしていくことも計画している。新年度役員は次のとおり。

代表理事 阿部昌史(株)ミートコンパニオン社長)▽副代表理事 原田智昌(原田畜産食品(株)社長)、貴志和男(株)山梨食肉流通センター社長)▽理事 阿部徳次(株)アグリス・ワン会長)、宮健一(株)ミヤミート社長)、森島了(株)ウエイ社長)▽会計監査役 植井敏夫(生産法人上里ファーム代表)。

「都内輸入食肉在庫・5月」牛肉、豚肉は前年比増加、鶏肉は減少

東京冷蔵倉庫協会が公表した5月の都内輸入食肉在庫によると、牛肉は在庫が2万1883トン、出庫が1万8344トン、在庫は2万6330トンとなり、前年同月比では15%増、前月比でも約4千トンの増加。豚肉は在庫が4万969トン、出庫が3万9852トン、在庫は8万9464トン。こちらも前年比で3・4%増となり、前月比でも微増となった。一方、鶏肉は在庫が1万7368トン、出庫が1万5395トン、在庫は4万5258トンとなり、前年比では11・4%減となったが、前月比では約2千トンの増加となった。シーズンドポークなどを含むその他畜産・畜産加工品は在庫が6749トン、出庫が6371トン、在庫は1万5178トン。前年比で2・4%増加し、前月比でも微増となった。

東京都の輸入食肉月末在庫(保税在庫)

	単位:トン、%					その他畜産物
	牛肉	豚肉	鶏肉	羊肉	馬肉	
24年1月	26,033	88,765	57,246	463	820	12,970
2月	23,027	87,873	56,722	521	746	13,292
3月	21,450	86,982	55,957	561	844	13,926
4月	19,284	86,450	50,527	482	710	13,592
5月	22,799	86,517	51,054	519	786	14,817
6月	25,385	81,747	49,883	435	756	14,645
7月	30,345	87,288	53,312	512	708	15,340
8月	33,252	92,344	53,078	527	692	15,824
9月	34,343	93,613	50,790	449	697	15,759
10月	32,436	96,122	50,088	515	738	15,516
11月	30,767	90,078	47,437	505	673	17,337
12月	26,744	83,125	39,364	472	619	16,862
25年1月	25,579	90,258	46,587	455	753	18,467
2月	23,740	91,428	47,614	456	761	17,171
3月	24,522	89,118	47,626	451	863	15,986
4月	22,791	88,347	43,285	455	814	14,800
5月入庫	21,883	40,969	17,368	491	102	6,749
5月出庫	18,344	39,852	15,395	445	185	6,371
5月在庫	26,330	89,464	45,258	501	731	15,178
前年同月比	115.4%	103.4%	88.6%	96.5%	93.0%	102.4%